ゆっくり走ろう北海道

No.180　公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

飲酒運転根絶ロゴマーク

令和３年度 定時社員総会 会長挨拶

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会
会長　吉本 淳一

定時社員総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、新型コロナウイルスの影響がある中で、総会にご出席いただきまして、心から感謝申し上げますとともに、日頃からそれぞれのお立場で交通安全運動に熱心に取り組まれ、ご活躍されておりますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、令和２年の道内の交通事故死者数は、前年に比べ８人少ない１４４人と、北海道の交通事故統計が残っている昭和22年以降では、平成30年の１４１人に次いで少ない数となりましたほか、交通事故件数や負傷者数も減少いたしました。

しかしながら、交通事故死者数の約半数を高齢者が占めているほか、飲酒運転が原因による大変痛ましい事故が後を絶たないなど、課題もあります。

このため、本委員会といたしましても、関係機関・団体と緊密に連携しながら、創意工夫を凝らした効果的な各種事業を展開して参りますので、皆様のご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、交通遺児育英事業につきましても、修学意欲のある交通遺児等の皆さんが、経済的理由でその道が閉ざされることのないように、より一層の支援をして参ります。

結びに、皆様の今後益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和3年度定時社員総会

令和3年度定時社員総会が6月7日、ホテルポールスター札幌で開かれました。

総会に先立ち、交通事故により尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

吉本淳一会長の挨拶の後、一般財団法人北海道老人クラブ連合会常務理事の坂井信氏を議長に選任し、議事では、報告事項である令和3年度事業計画書及び収支予算書の説明の後、決議事項である令和2年度事業報告及び決算報告が原案通り承認等され、閉会いたしました。

北海道交通安全推進委員会 令和3年度事業計画

第1　交通安全推進事業（公益目的事業1）

1　交通安全意識向上事業
（1）交通安全地域指導者セミナー
（2）交通安全研修会等への講師の派遣
（3）飲酒運転根絶研修

2　調査・研究事業
（1）交通安全推進員の設置
（2）デイ・ライト事業の点灯率調査
（3）交通安全推進員の研修

3　広報事業
（1）交通安全総決起大会等の開催
（2）広報啓発事業
（3）飲酒運転根絶の日決起大会の開催
（4）地域連携型飲酒運転根絶事業

4　表彰事業
（1）ゼロ運動顕彰
（2）指導員・奉仕員表彰
（3）母の会会員表彰
（4）一般表彰
（5）業務貢献表彰

5　交通安全啓発支援事業
（1）交通安全運動等啓発事業
（2）自転車の交通事故防止事業
（3）幼児の事故防止事業

6　交通事故防止支援事業
高齢者の交通事故防止事業

第2　交通遺児育英事業（公益目的事業2）

1　交通遺児就学助成事業
（1）資金造成事業
（2）奨学金募集等事業
（3）広報啓発活動事業
（4）称賛事業
（5）奨学金返還未納者調査

2　作文募集事業

第3　交通安全推進団体交付金事業（その他事業）

1　地区活動の充実・支援
2　母親交通安全活動の強化

第4　管理事業（法人会計）

※公益目的事業の一部統合

本委員会では、従前の「自主交通安全推進事業（公益目的事業1）」と「交通安全活動支援事業（公益目的事業2）」については、事業を効果的に進めるため、両事業を統合し、新たに「交通安全推進事業（公益目的事業1）」とすることで、北海道知事から認定をいただき、令和3年度から施行いたしました。

これに伴い、「交通遺児育英事業」は、公益目的事業3から公益目的事業2へ変更となりました。

令和2年度北海道交通安全推進委員会会長表彰

○交通安全指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員80名を表彰しました。

○交通安全母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した交通安全母の会会員9名を表彰しました。

○交通安全一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした2個人・2団体を表彰しました。

○交通事故死ゼロ運動顕彰

延べ29市86町14村を表彰しました。

○業務貢献表彰

12団体に感謝状を贈呈しました。

なお、例年2月に開催しております「北海道交通安全功労者等表彰式」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

春の全国交通安全運動に伴う街頭啓発

4月6日から15日までの10日間、春の全国交通安全運動の一環としてＪＲ札幌駅周辺や野村証券周辺で街頭啓発を実施しました。

この啓発では、交通安全対策七者連絡会議が主体となり交通安全のぼり旗を掲げるとともに、広報啓発ＣＤを流し通過車両や、歩行者に対し交通安全を呼びかけました。

4月6日には、道庁赤れんが庁舎前庭で春の全国交通安全運動「道民の集い」を開催し、スペシャルゲストとして、斜里町出身でＮＨＫ北海道の情報番組「北海道道（ほっかいどうどう）」のＭＣとして活躍し、番組を通じて北海道の魅力や文化を伝えられている多田萌加さんが応援に駆けつけ、交通安全メッセージを読み上げたほか、「旗の波」街頭啓発にも参加くださいました。

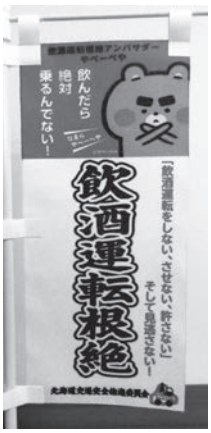
春の全国交通安全運動中の自転車啓発

4月12日、春の全国交通安全運動の重点の一つであり、また、雪解け後に自転車利用者が増加する時期でもあることから、関係機関・団体と連携して自転車利用者に対する啓発活動を実施しました。

札幌駅南口広場で啓発開始式を開催した後、札幌駅西口付近へ移動し、自転車利用者と歩行者に対し、自転車を安全利用するためのチラシやリフレクターを配付しました。

飲酒運転根絶　卓上ミニのぼり旗の設置

「飲酒運転をしない、させない、許さない」そして見逃さないを合言葉に、株式会社セコマ様と連携し、「飲酒運転根絶卓上ミニのぼり旗」を道内のセイコーマート約1，100店舗に設置していただき、家庭での飲酒から生じる飲酒運転防止について、道民の意識の高揚を図りました。



飲酒運転根絶「短編アニメーション」の作成

北海道教育大学函館校の伊藤　碧さんと連携し、「飲酒運転根絶宣言店」の募集チラシを作成したほか、飲酒運転根絶の短編アニメーションを作成し、YouTube チャンネルで公開しております。

飲酒運転根絶DVDの作成

飲酒運転根絶の活動に必要な知識等に精通した人材を育成するため、市町村職員、交通安全推進員、交通安全指導員等を対象に全道14ヶ所（振興局管内）において研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により実施が難しくなったことから、上川総合振興局、上川地区交通安全推進協議会と協力し、飲酒運転根絶に関する動画「アルコールの基礎知識～お酒と正しく付き合ってSTOP!!　飲酒運転！～」を作成し、収録したDVDを全道各市町村に配布するとともに、YouTubeチャンネルで公開しております。

令和3年「飲酒運転根絶の日」決起大会

7月13日、札幌市のかでるホールで、令和3年「飲酒運転根絶の日」決起大会を開催しました。

この7月13日は、平成26年に小樽市で、3人が死亡、1人が重傷という悲惨な飲酒運転によるひき逃げ事件が発生した日で、その日を「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」において、「飲酒運転根絶の日」と制定されたものです。

主催者を代表して、鈴木直道北海道知事、小島裕史北海道警察本部長から相次ぐ死亡事故の原因となっている飲酒運転の根絶に向けて、より一層の展開を図っていただくよう挨拶がありました。引き続き来賓を代表して、市橋修治北海道議会副議長からご挨拶をいただきました。

その後、「令和2年 飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール」で優秀賞を受賞した、北海道知事賞、北海道警察本部長賞、北海道教育委員会教育長賞の3作品を、シンガーソングライターの桜庭 和さんが朗読し、歌のメッセージも収録した動画を上映しました。

次に、特定非営利法人ASK（アスク）が、「オンライン飲み会」や「節酒のアドバイス」を題材に作成した「新型コロナ　ステイホームと飲酒運転」の啓発動画を上映しました。

さらに、飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」と「べやパパ」こと作者の五十嵐淳さんから動画で今年のポスター等について紹介していただき、最後に、道民を代表して札幌のお笑い芸人の「しろっぷ」さんに、飲酒運転根絶への願いをこめたメッセージと道民宣言をいただいた動画を上映し、今大会を契機に、道民一丸となって「飲酒運転をしない、させない、許さない」を合言葉に飲酒運転を根絶することを改めて誓い合い決起大会を終了しました。

なお、今大会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会場への入場者を100名に制限し、内容も動画上映が主体となりましたが、無事に決起大会を終えることができました。

また、当委員会YouTubeチャンネルでライブ配信を行いましたので、是非ご覧ください。

夏の交通安全運動「セーフティコール」

7月13日、北海道警察本部周辺で夏の交通安全運動「セーフティコール」を実施しました。

夏の交通安全運動は7月13日から22日までの10日間にわたり展開され、「飲酒運転の根絶」、「バイク・自転車の交通事故防止」、「スピードダウンと全席シートベルト着用」、「子供と高齢者の交通事故防止」の4つを運動の重点に定め、7月13日の統一行動日（セーフティコール）に、広く道民に交通安全を呼びかけ、道民一人一人の交通安全意識を高めるため街頭啓発を実施しました。

当委員会のYouTubeチャンネルはこちら↓

交通事故死ゼロ運動顕彰

2月	3月	4月	5月	6月	7月【予定】
9500日▶西興部村	4500日▶泊村	5000日▶興部町	2000日▶当麻町	4000日▶礼文町	3000日▶黒松内町
4500日▶上ノ国町	3000日▶知内町	2500日▶小清水町	愛別町	2000日▶中富良野町	2500日▶陸別町
3500日▶幌延町	2500日▶東川町	2000日▶ニセコ町	滝上町	1500日▶今金町	2000日▶豊浦町
3000日▶寿都町	2000日▶羽幌町	士幌町	鶴居村	上川町	1500日▶雄武町
2000日▶由仁町	1000日▶蘭越町	1500日▶苫前町	1000日▶豊富町	占冠村	大樹町
江差町	更別村	利尻富士町	豊頃町	700日▶秩父別町	700日▶小平町
1000日▶福島町	700日▶幌加内町	置戸町	700日▶芦別市	仁木町	
遠別町	池田町	1000日▶三笠市	積丹町	音威子府村	
700日▶北広島市	浜中町	剣淵町	美幌町	天塩町	
増毛町	500日▶南幌町	中頓別町	500日▶栗山町	500日▶夕張市	
稚内市	新ひだか町	斜里町	壮瞥町	安平町	
500日▶中川町	留萌市	羅臼町	大空町		
釧路町	新得町	700日▶南富良野町			
300日▶恵庭市		浦幌町			
		500日▶様似町			
		松前町			

皆様からのご支援、ありがとうございました。

全国共済農業協同組合連合会北海道本部

寄贈をいただきました「交通安全フラッグ」（４色）

（敬称略）

受領月	寄付者名	種　類	区　分	寄付金額（単位：円）
12月	植村　泰也	特定	寄付	2,000
１月	渡島地区交通安全推進協議会	特定	募金（箱募金）	2,481
	株式会社アペックス	特定	寄付	6,853
２月	室蘭地方中古自動車販売協会	特定	寄付	20,000
	寿都町交通安全推進委員会	特定	寄付	1,000,000
	植村　泰也	特定	寄付	2,000
４月	植村　泰也	特定	寄付	2,000
６月	植村　泰也	特定	寄付	2,000
７月	寿都町女性マイカークラブはまなす	特定	寄付	70,093

６月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部	交通安全フラッグ　30,000本	9,405,000（相当）

会員異動状況

入　会

区　分	団　体　名	郵便番号	住　所	入　会　日
賛助会員	有限会社太田軽鉄	089-0563	中川郡幕別町字千住３９７番地７８	令和2年8月1日

こうつうあんぜんたんぼう
交通安全探訪

ニセコ町
（後志総合振興局）

継続した交通安全運動で安心・安全な町づくり

外国人に向けて交通安全を啓発

ニセコ町は、道央の西部、後志管内のほぼ中央に位置し、東に国立公園羊蹄山、北に国定公園ニセコアンヌプリの山岳に囲まれており、波状傾斜の多い丘陸盆地を形成しております。

町の中央には尻別川（２００４年清流日本一）が流れ、昆布川、ニセコアンベツ川、真狩川などの中小河川が流入しております。

気候も内陸型で平均気温は、摂氏６・３度で、冬季の積雪も２００㎝以上に達する事もあります。

主幹産業は農業で、ジャガイモ、米、野菜等です。

ニセコ町は、古くから道内の温泉観光地として知られ、高度経済成長期には、モイワスキー場、アンヌプリ国際スキー場が開設されるなど、スキーリゾートとして脚光を浴びるようになりました。

近年は、ニセコ地域の雪質の良さがオーストラリア人スキーヤーをはじめ中国などの富裕層を中心とした外国人にも知られるようになり、スキーを目的とした冬季の外国人観光客が増加しています。

このことから、外国人観光客のほか、外国人のホテル従業員など、町内では自動車を運転する外国人ドライバーが急増していることから、関係機関の協力により、英語表記を追加した交通標識の設置や英語の交通安全旗を作成するなど、外国人への交通安全啓発に力を入れています。

英語の安全旗

町民への交通安全啓発活動

交通安全対策は、ニセコ町交通安全推進委員会を中心に関係機関、団体等の協力を得て活動を展開しています。

４期の期別運動と後志総合振興局管内で行われている春の行楽期、秋の輸送繁忙期の運動とあわせて６期60日の期別運動のなか、各期別の交通安全期間中は通学路を中心に交通安全指導員・警察・町による街頭指導を毎日実施しています。

また全道統一セーフティコール日には、「ニセコ道の駅」で駐車場の車輌に対して、交通安全啓発物品を配布し、運転者、同乗者に交通事故防止意識の啓発に努めております。（昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

併せて運動期間中の開始日、最終日には日没時間帯から約１時間、パトライト作戦を町内５カ所（国道・道道）で実施しております。

また、毎年、子どもの交通安全対策の一環として、新入学児童に、クリアファイル等を贈呈して、交通安全の啓発を行っているほか、各小学校で交通指導員による、横断歩道の渡り方や正しい自転車の乗り方等の交通安全教室を行っています。

旗の波運動

さらに、成人式において、新成人へドライバーの責任を確認してもらうため交通事故の被害者・加害者の手記を掲載した交通安全啓発物を配布しています。

高齢者に対しては、世帯訪問啓発として交通安全のほかに防犯についてのチラシなどを配布している（昨年は中止）ほか、交通安全協会において、運転免許自主返納者へ支援金の支給を実施しております。

広報活動としては、運動期間に対応した交通安全新聞の全戸配布や町の広報誌を活用した交通安全啓発のほか各種交通安全チラシ等の配布をしています。

交通安全教育

交通事故死ゼロの継続について

このような交通安全活動のほか、町内の民間事業所による独自の旗の波活動が実施されるなど、町内の交通安全に対する意識が高くなっております。

この成果の表れとして、令和３年４月13日をもって「交通事故死ゼロ２，０００日」を達成することができました。

この度、２，０００日達成の表彰として、北海道知事より感謝状、公益社団法人北海道交通安全推進委員会会長より表彰状と楯をいただきました。

この記録を今後も継続するべく、町内の各組織・団体・企業等の協力・連携を仰ぎながら事故の無い安心・安全な町を目指して継続した交通安全運動を推進してまいります。

交通安全推進員の声

事故防止の近道

空知地区
岡崎　隆

4月から空知地区交通安全推進員としてお世話になっております。

日ごろ個人的に普通乗用車と自動二輪車（夏から秋）を運転しておりますが、運転するに当り安全運転に心掛けるとともに、運転中だけに限らず一歩行者としても事故に遭わないようにできるだけ自動車や自転車等に注意をはらいながら生活しております。その中でも特に「できるだけ危険なところに近づかない」ことを心掛けるようにしてまいりました。

そんな私ですが縁があって4月から空知地区交通安全推進協議会に交通安全推進員として勤めることになり、はじめて交通安全を推進する立場の業務に携わることになりました。そのような関係で交通安全に関係する雑誌や書物を目にする機会も増え、あるとき交通安全教育推進月刊誌「人と車」に掲載されていた東京海上日動リスクコンサルティングの北村憲康氏の「目からうろこの安全講習の実況中継」（6回に分けて掲載）を読ませていただいたところ、飲酒運転や交通事故を防止するために欲求のコントロールが必要とのことで、「ルールと危険を認知したらルールに従い、危険から離れるという行動をとることを自分の中で決めておくこと」が事故防止の近道として紹介されていました。

まさに私が実践していることでもあり、今後もこのことを心掛けて行動していくとともに、悲惨な交通事故を少しでも減らしていけるように推進員の仕事に取り組んでいきたいと考えております。

着任のご挨拶

留萌地区
藤川　麻未

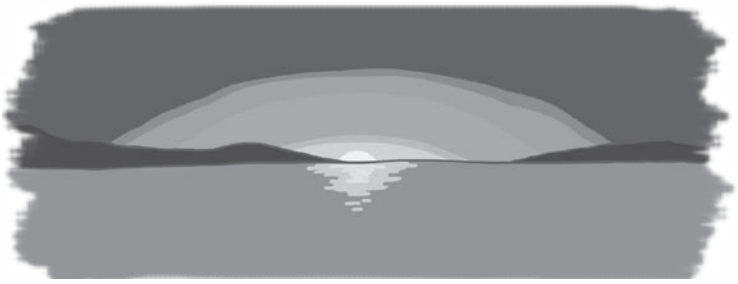
今年度より、留萌地区交通安全推進員になりました藤川です。どうぞ宜しくお願い致します。

私が、交通安全推進員になろうと思ったきっかけは、中学生の頃に友人の父親が交通事故で亡くなったことです。私もその葬儀に参列しましたが、その時の皆が悲しむ姿は今でも忘れられません。そのような辛い思いをされる方を一人でも減らしていきたいと思っています。

留萌管内における昨年の交通事故発生件数は、25件でした。一昨年よりも18件減っており、死亡事故は6年ぶりにゼロとなりました。今年も交通事故死者数ゼロを目指し、交通安全運動により一層、力を入れていきたいです。

私は、昨年留萌に引っ越してきましたが、黄金岬海浜公園から見る夕陽は、今まで見たことがないほど、とても美しく感動しました。その美しさは日本の「夕陽百選」にも選ばれています。

また、昨年7月には道の駅「るもい」も新たに完成しましたので、新型コロナウイルスが収束しましたら、安全運転で是非留萌へお越し下さい。



おかげさまで 創業67年

駆け抜ける

白馬堂印刷株式会社

本　　社／〒064-0823 札幌市中央区北3条西25丁目
TEL.011-621-1471　FAX.011-621-8551

発寒工場／〒063-0829 札幌市西区発寒9条14丁目516
TEL.011-665-8881　FAX.011-669-2656

胆振地区 …… 白老町

白老町では、社台地区の国道36号線の複線化に伴い、通過車両の高速化が懸念されていた旧社台小学校前において、春の全国交通安全運動期間中に安全運転を願い、小雪がちらつく中、多くの町民が参加し旗の波運動を実施することができました。

檜山地区 …… 江差町

江差町では、「春の全国交通安全運動に伴う一斉街頭啓発」が令和3年4月6日に役場前で行われ、町内の交通安全関係機関・団体が参加され、交通安全旗を掲げる「旗の波作戦」を実施しました。

江差町は今年2月7日に交通事故死ゼロの日2000日を達成しました。今後も更なる交通安全意識の向上に努めていきます。

宗谷地区 …… 利尻町

利尻町では、前年度の夏の交通安全運動において、町内保育所園児による「旗の波作戦」を実施しました。沿道に並ぶ園児を見たドライバーは、速度を落とし、園児の旗波に応えるように運転していました。

また、令和２年７月24日には、「交通事故死ゼロ4000日」を達成しました。

本年、12月６日に達成となる「交通事故死ゼロ4500日」を目標として、今後更なる交通安全意識の向上に努めていきます。

根室地区 …… 根室市

根室市では、春の交通安全運動初日の４月６日、振興局、警察署、交通安全協会をはじめとする関係機関・団体が一堂に会し、交通安全出動式、自動車パレードを行い、交通安全の意識向上を広く呼びかけました。

また、運動期間中は、入学して間もない児童の交通事故の発生が懸念されることから『小学校入学式に合わせ啓発用品の配布』や通行車両にスピードダウンを促す『パトライト作戦』、一人暮らしの老人宅を戸別訪問し、交通安全を呼びかける『高齢者宅訪問』などの啓発事業を展開しました。

「IT」で「幸せ」に挑む。

HBA

株式会社HBA

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL:011-231-8301　FAX:011-281-0915
www.hba.co.jp

令和３年８月号　公益社団法人北海道交通安全推進委員会　札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル6階　電話(011)221-6666　FAX(011)221-7873
URL: https://www.slowly.or.jp　　e-mail: safety@slowly.or.jp